## 小型JASMINEと国際連携

辻本拓司、郷田直輝、小林行泰、矢野太平、丹羽佳人、井上茂樹、宇都宮 真、鹿島伸悟、亀谷 收、中島 紀(国立天文台)、山田良透、 藤田 翔 (京大理)、原 拓自、田川寛通 (東大理)、吉岡 諭 (東京海洋大)、穂積俊輔 (滋賀大)、梅村雅之(筑波大)、西 亮一(新潟大)、 浅田秀樹(弘前大)、長島雅裕(長崎大)、對木淳夫、野田篤司、歌島昌由 (SE 推進室/JAXA)、安田 進、佐藤洋一、小柳 潤(DE 部門/ JAXA)、中須賀真一(東大工)、酒匂信匡(信州大)、ほかJASMINE ワーキンググループー同

小型JASMINEでは得ることのできない視線速度および化学組成に関する情報を取得するため、現在精力的に国際協力を進めている。その 柱となるのが、BRAVA(a large scale radial velocity survey of the Galactic bulge/bar population)のPIであるUCLAのM. Richおよびオーストラリ ア国立大学のK. Freemanが押し進めるARGOS project (a large chemical composition survey of the Galactic bulge)、そして、PIがヴァージニア 大学のS. MajewskiであるAPOGEE projectとの国際連携である。APOGEEでは昨年度から2014年にわたり、Hバンドで12.5等級より明るい およそ10万個の星について化学組成の高分散観測を遂行中である。バルジ星として約7千個が含まれる予定であるが、さらなるJASMINEと のシナジーを考え、APOGEEチームとはAPOGEEの継続的発展として、バルジ観測に適した南天の望遠鏡にAPOGEEと同じ高分散分光器を 取り付け、バルジ観測を行うAPOGEE-III計画を共同でプロポーザルを出すことが提案され昨年度の秋に提出を終えた。JASMINEはこれら3 つの国際プロジェクトと共同体制を敷き、科学目標の実現を目指している。

